

算定様式 (B 様式) の作りかた

① 賦課金番号

● 申告書に入力されている汚染負荷量賦課金番号を入力してください。

申告書に入力した納付義務者名、工場・事業場名を入力してください。

② No.

● B様式の全使用枚数と通し番号です。
この例では、全5枚のうちの1枚目であることを表します。

Excel 雛型ファイルで様式を追加すること
に、自動的にNo.が付与されます。

③ 施設名

● ボイラーなど、排出ガス測定の対象となる全ての施設の名称を入力してください。

④ 脱硫の有無

● 脱硫がない場合は「無」、
脱硫がある場合は、該当
する脱硫方式を選択して
ください。(複数選択可)

● 通常は「一般用」を選択してください。

● 「積算計使用」は、SO₂濃度を連続測定し、月ごとのSO_x量の
積算値で申告する場合のみ使用してください。(この場合も、
「⑩補正排出ガス量」、「⑪補正 SO_x濃度」、「⑫稼働時間」は可能
な限り入力してください。)

平成XX年度汚染負荷量賦課金
年間排出量の算定の過程を示す書類 (B)

① 賦課金番号
00233010

工場・事業場名
(株)白神製紙 秋田工場

② No.
B-01 枚目
05 全校数

④ 脱硫の有無
☐ 無
☐ 排煙脱硫
☒ 集じん等脱硫
☒ 製品等脱硫

③ 施設名 1号 黒液回収ボイラー

① 一般用

② 積算計使用

⑤ 年月	⑥ 燃原料の種類	⑦ 使用量	単位	⑧ 密度	⑨ 含有硫黄分	⑩ 補正排出 ガス量	⑪ 補正 SO _x 濃度	⑫ 稼働 時間	⑬ SO _x 排出量
⑤ 年月	⑥ 燃原料の種類 種類 ⑥ 燃原料の種類 その他名称	⑦ 使用量	単位	⑧ 密度 g/cm ³	⑨ 含有硫黄分 %	⑩ 補正排出 ガス量 m ³ N/h	⑪ 補正 SO _x 濃度 ppm	⑫ 稼働 時間 h	⑬ SO _x 排出量 m ³ N
1 月	黒液	8,805,888	kg	1.58		88,480	156	720	7,891.8
2 月	黒液	8,228,158	kg	1.58		71,820	186	872	7,989.3
3 月	黒液	8,700,905	kg	1.58		75,640	180	744	9,004.1
4 月	黒液	10,142,078	kg	1.58		80,890	154	720	8,969.0
5 月	黒液	9,873,988	kg	1.58		78,420	182	744	9,451.8
6 月	黒液	9,884,124	kg	1.58		78,170	173	720	9,736.8
7 月	黒液	8,830,541	kg	1.58		75,580	158	521	6,221.5
8 月	黒液	2,824,848	kg	1.58		77,500	147	223	2,540.5
9 月	黒液	10,018,408	kg	1.58		78,910	188	720	9,885.9
10 月	黒液	10,124,518	kg	1.58		78,450	153	744	8,930.1
11 月	黒液	10,273,851	kg	1.58		81,940	173	720	10,208.4
12 月	黒液	8,349,475	kg	1.58		72,880	154	878	7,587.7
年間計	黒液	⑦ 年間使用量 104,988,857						⑫ 年間稼働時間 8,004.7	⑬ 年間 SO _x 排出量 98,004.7

入力チェック

算定様式の追加

算定様式の削除

印刷

エクセル保存

前年度データ複写

終了

操作のしかたは、
22 ページを
ご覧ください。

⑤ 年月 (入力済みです)

⑥ 燃原料の種類

● 実際には使用している燃原料の名称を選択してください。
● 実際には使用している燃原料の名称を入力してください。
燃原料のコードは、燃原料コード表 (73 ページ) から選択し、入力してください。

● 3 種類以上の燃原料を使用する施設については、年間を通して SO_xを排出する主な燃原料を 2 種類選択し、
入力してください。

⑦ 使用量

● 燃原料の使用量を各月ごとに集計し、小数点以下の端数を切り捨てた整数値を入力してください。

● 使用実績が無い月は、その月全体を空欄にしてください。「0」を入力すると、エラーとなります。

単位

● 使用する燃原料に応じて、該当する単位を選択してください。(kg、ℓ、t は使用しないでください。)

液体の場合: ℓ 固体の場合: kg 気体の場合: m³/h、kg

⑧ 密度 (g/cm³) ※

● 燃原料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下 4 けた目を切り捨て、3 けたまでの数値を入力してください。

⑨ 含有硫黄分 (%) ※

● 燃原料購入先の成績表などの数値を利用して、小数点以下 3 けた目を切り捨て、2 けたまでの数値を入力してください。

● 硫黄分の分析データが無い場合は、標準的硫黄分一覧 (73 ページ) の数値を使用してください。

● 含有硫黄分の単位は、それぞれ下記のとおりです。

液体の場合 (ℓ): 質量% 固体の場合 (kg): 質量% 気体の場合 (m³/h): 容量% (% (vol))

※「密度」「含有硫黄分」計算時の留意点

● 自社測定によらない場合は、理由・測定方法・測定者・測定データを明記した書類を添付してください。

● 同じ月に密度や含有硫黄分が異なる燃原料を使用した場合は、それぞれの成績表の数値を使用して加重平均した値を入力してください。(39 ページ)

⑩ 補正排出ガス量 (m³/h)

● b 様式の「4.⑩補正排出ガス量」(62～65 ページ) で算定した補正排出ガス量を入力してください。

⑪ 補正 SO_x 濃度 (ppm)

● b 様式の「4.⑪補正 SO_x濃度」(62～65 ページ) で算定した補正 SO_x濃度を入力してください。

⑫ 稼働時間 (h)

● 当該施設が 1 か月間に稼働していた時間 (1 時間未満は切り捨て) を入力してください。

⑬ SO_x 排出量 (m³/h)

● 「一般用」で入力する場合:
下記の計算式で SO_x排出量を計算し、小数点以下 2 けた目を切り捨て、1 けたまでの数値を入力してください。

⑬ SO_x 排出量
(m³/h)

=

⑩補正排出ガス量
(m³/h)

×

⑪補正 SO_x 濃度
(ppm)

×

10⁻⁶

×

⑫稼働時間
(h)

● 「積算計使用」で計算する場合:
SO₂濃度を連続測定し、月ごとの SO_x量の積算値で申告する場合は、SO_x量に換算した値を小数点以下 2 けた
目を切り捨て、1 けたまでの数値にして入力してください。

● ⑩～⑫を入力すると、自動的に計算されます。

⑭ 年間使用量

● 各月を入力すると、自動的に計算されます。

● 1 月～12 月の使用量の合計を入力してください。

⑮ 年間 SO_x 排出量 (m³/h)

● 各月の SO_x排出量が、自動的に合計されます。

● 1 月～12 月の SO_x排出量の合計を入力してください。

算定様式

算定様式 (B 様式) の作りかた

20

21